

施設予約システムに求める機能要件を以下に示す。

No.	大項目	中項目	小項目	要件	
1	基本要件	動作環境	システム本体	ハウジング・ホスティング・ASP等の方式でクラウド型のサービスであること。	
2				インターネット環境からアクセス可能であること。	
3				LGWAN環境からアクセス可能であること。	
4		アクセス環境	施設管理者側の環境	PC、タブレット及びスマートフォンからアクセスでき、PC及びタブレットではWindows OS・Mac OSX・Chrome OS、タブレット及びスマートフォンではiOS、AndroidのOS上で、Microsoft Edge・Google Chrome・Safariのブラウザで正常に動作すること。	
5				管理者用サイトは、サーバへのアクセスをグローバルIPアドレス(固定)で制御できること。ただし、施設管理者がグローバルIPアドレス(固定)を取得していない場合には、登録したパソコンからのみ管理者システムを利用できる設定(端末固有のMAC、デジタル証明書等)で制御できること。	
6		サービスの構成	施設利用者側の環境	PC、タブレット及びスマートフォンからアクセスでき、PC及びタブレットではWindows OS・Mac OSX・Chrome OS、タブレット及びスマートフォンではiOS、AndroidのOS上で、Microsoft Edge・Google Chrome・Safariのブラウザで正常に動作すること。	
7				サイトの構成	システム管理者及び施設管理者が利用できるサイトと、施設利用者が利用できるサイトが別々であること。
8		スマートロックシステムとの連携	-	-	スマートロックシステムと連動し、施設予約に対して自動的に暗証キーを発行できること。
9					施設予約システム上からスマートロックシステムを操作できること。
10					決済サービスとの連携
11		非機能要件	稼働要件	平時の稼働要件	稼働時間は24時間365日とする。この稼働時間には、計画停止、メンテナンス時、及び保守期間は除く。ただし、平常時の日中時間帯(8時30分から21時00分まで)はサービスを提供できること。
13	災害時の稼働要件				災害発生時はクラウド環境の復旧から1週間以内を復旧目標時間とすること。
14	セキュリティ要件		-	情報セキュリティポリシーが策定されており、セキュリティに関する体制、情報資産の取扱いに関する規定、インシデント対応、セキュリティに関する第三者認証など、セキュリティ対応が行われること。	
15	バックアップ要件		-	システム及びデータが一定のインターバルでバックアップがなされており、復旧手法についても確立されていること。	
16	運用保守性		バージョンアップ	システムにバージョンアップが必要な場合、保守運用業務の受託者あるいはシステムのサービス提供元が実施できること(職員による作業等が発生しないこと)。	
17			職員サポート	施設情報の変更(予約可能時間や料金等の諸条件)の操作方法の教授、操作についての質疑対応等、ヘルプデスクの役割が提供できること。	
18	機能要件	基本的に具備している機能	ユーザ管理機能	システム管理者、施設管理者、施設利用者の3種類のユーザアカウントがあること。	
19				施設管理者及び施設利用者のアカウントについては登録上限がないこと、かつ、別途費用が発生しないこと。	
20			排他制御	複数のユーザからのデータ更新要求が起こった場合でも、データの整合性が保たれる機能を有すること。	
21				重複予約が発生しないように制御がかかること(仮予約の段階で重複予約を防止できること)。	
22			セッションタイムアウト	システム管理者、施設管理者、施設利用者のアカウントが、それぞれにおいて、ログイン後、ログアウトをするかセッションタイムアウトになるまでは、ログインの状態が保たれること。	
23			通知機能	メールを使った通知機能を有していること。	
24			施設検索機能	登録されている施設情報を検索できること。	

施設予約システムに求める機能要件を以下に示す。

No.	大項目	中項目	小項目	要件
25				施設情報の検索にはキーワード等での絞り込みができること。
26			施設空き状況検索機能	施設の空き状況(予約状況)をカレンダー形式で表示できること。
27		カレンダー形式での表示は、月・週・日など複数の単位で表示を切り替えられること。		
28		カレンダー形式での表示は、翌月・翌週・翌日への遷移がワンクリックでできるなど、簡易であること。		
29		複数の施設を並べて空き状況を表示できること。		
30		日時を指定して施設の空き状況を検索できること。		
31		利用者登録・認証機能		施設の利用を希望する者が、施設利用者としてユーザ登録ができること。
32			ログイン時にID、パスワードを入力して利用者の認証ができること。	
33			利用者認証において、規定回数以上のエラーで利用者IDを制限でき、パスワード入力に相違がある際は残り入力可能回数等の警告メッセージが表示できること。	
34			利用者登録に必要な入力項目を設定できること。	
			利用者IDを村内(一般・減免)、村外等管理者が区分して発行できること。	
			初回利用登録の場合、窓口での登録を案内する機能が付加できること。	
37			新規登録の際、二重登録防止のため、メールアドレス、利用者名、電話番号などで登録済利用者のチェックができること。	
38			メールアドレスの確認機能(利用者登録用のURLをメールに記載し登録に進めるなど)を有すること。	
39	システム管理者が利用できる機能		施設管理者ユーザアカウントの管理	施設管理者のユーザアカウントを登録できること。
40				施設管理者のユーザアカウントを変更できること(ログインパスワードの変更含む)。
41		施設管理者のユーザアカウントを削除できること。		
42			ログ管理	各種操作ログを取得できること。
43				施設情報の変更履歴を取得できること。
44			メンテナンスモード	施設管理側サイト・利用者側サイトをメンテナンス状態にできること(併せて表示メッセージを登録できること)。
45			施設管理者側が利用できる機能	施設管理者側が利用できる機能に記載している項目を全て利用できること。
46	施設利用者側が利用できる機能	利用者登録申請	施設利用者としてのユーザアカウントの登録申請ができること。	
47			ユーザ種別として団体・個人の2種類があること。	
48			登録しているユーザ情報を変更できること。	
49			登録しているユーザ情報を削除できること。	
50			パスワード再設定ができること(メール認証など)。	
51			お気に入り施設を登録できること。	
52			お気に入り施設からのお知らせメールの受信可否を設定できること。	
53			マイナンバーカードを利用した利用者情報の反映ができること。	
54			施設予約申請機能	ユーザ登録した者のみが施設予約申請機能・複数日予約機能を利用できること。

施設予約システムに求める機能要件を以下に示す。

No.	大項目	中項目	小項目	要件
55				施設・時間を指定し、施設の利用予約申請ができること(仮予約)。
56				利用予約申請受付のメール(申請内容を含む)を申請者宛に送られること。
				仮予約・本予約の設定が可能であること。
				施設ごとに仮予約の受付を選択できること。(仮予約を受け付けられない施設が可能であること。)
59				仮予約・本予約の内容の変更申請ができること。
60				検索機能を使用し、検索画面から空き時間を選択して予約申請ができること。
61				お気に入りの登録した施設から利用予約申請できること(空き状況確認もしくは日付指定等により)。
62				施設予約の過去の履歴からその内容を再利用して施設予約ができること。
63				施設で利用できる備品があり、その利用も併せて申請が必要な場合、施設予約申請と同時に申請できること。
64				空き状況を検索した画面から予約申請ができること。
65				施設予約申請に電子ファイル(画像ファイル等)を添付できること。
66				予約した申請に対し、キャンセル申請ができること。
				キャンセル申請受付の制限が可能であること。(「利用者からの連絡を必要とする」など。)
68			複数日予約機能	予約した内容(施設、利用者情報、利用内容等)を日付を変えて複数日の予約ができること。あるいは、日時を複数選択して予約申請ができること。
				予約可能な期間において曜日毎(「毎週〇曜日、〇時～」など)の予約ができること。
				複数日予約を認める利用者の制限が可能であること。
			操作方法確認機能	施設予約システムの利用方法(マニュアル等)が利用者サイト内から確認できること(別ウィンドウで。なお、リンクにより別サイトへの誘導でも差し支えない)。
71				施設予約システムの利用方法(マニュアル等)が利用者サイト内から確認できること(別ウィンドウで。なお、リンクにより別サイトへの誘導でも差し支えない)。
72				利用上の遵守事項、よくある質問、各施設やシステムに関するお知らせ等周知事項が閲覧できること。
	施設管理者が利用できる機能		施設情報管理機能	施設情報を登録(施設名・住所・連絡先・AED有無・利用可能人数、利用料金等の案内情報、画像情報の掲載)ができること。
73				施設情報を登録(施設名・住所・連絡先・AED有無・利用可能人数、利用料金等の案内情報、画像情報の掲載)ができること。
74				一つの施設に複数部屋(ルームA、ルームB、グランド半面A、グランド半面B、グランド全面、等)の登録ができること。
75				施設における複数部屋の制御が可能であること(例:グランド全面を予約した場合、グランド半面A・Bに排他制御がかかること。グランド半面Aを予約した場合、グランド全面に排他制御がかかること。)
76				施設情報を変更できること。
77				施設情報を削除できること。
78				施設の位置を地図サービス(GoogleMAP等)で表示できること。
79				施設の利用可能日を設定できること(日・時間・曜日等)
80				施設の利用料金を設定(変更含む)ができること(決済サービスとの連携機能が活性の場合、反映されること)。
81				施設情報の編集、利用許可の権限を別の施設管理者アカウントと共有設定できること。
82				施設予約申請における入力項目を追加・編集・削除できること。(例:村内人数・村外人数、楽器の演奏有無、運動による振動・騒音の可能性の有無、雨天時のキャンセルの可能性有無、電子ファイル等)

施設予約システムに求める機能要件を以下に示す。

No.	大項目	中項目	小項目	要件
83				施設予約受付メール、施設予約確定メールに記載される文言を設定できること。
84				施設予約が可能な期限(受付開始、終了期限等)の設定が任意に行えること。
85				キャンセル受付期限を設定できること。
86			利用許可機能	受付けた利用許可申請(仮受付)内容を確認できること。
87				受付けた利用許可申請(仮受付)内容をエクスポート(csvファイルあるいは指定した帳票)できること。
88				施設利用申請に対するステータス管理(仮受付・協議中・利用許可・利用却下・利用料請求中・利用料支払い済み、等)が可能なこと。
89				利用許可した場合、利用許可申請者にメールで通知すること。
90				利用許可・却下した場合、利用許可書を生成すること。
91				利用許可した場合、利用許可書を利用許可申請者へのメールに添付できること。
92				職権により利用許可申請内容を編集できること。
93				職権により利用料金の減免等の操作・設定ができること。
94			代理申請機能	電話受付、窓口受付した場合に、利用者に代わって利用許可申請を入力できること。
95			スマートロックシステムを操作する機能	施設管理者サイトからスマートロックシステムを操作できること。
96				スマートロックの暗証キーを発行できること。
97				スマートロックの暗証キーを再発行できること。
98				施設管理者サイトから施錠・開錠できること。(あるいはスマートロックシステムへのリンク対応でも可)
99				施設管理者用の暗証キーを設定できること。
100			キーボックスによる運用	キーボックスとの連携により施錠・開錠ができること。
101				既にキーボックスによる運用を行っている施設については既存キーボックスとの連携が可能であること。 (【既存機器】メーカー:lockin、型番:Smart Lock Box L1)
102			支払い状況確認機能	施設利用料の支払い状況を確認できること(請求中・支払済、等)。ステータス管理に含まれる場合は差し支えない。
103				支払いに関する各状況毎にソート、フィルタ等の機能で一覧で確認できること。
104				支払いに関する各状況毎にソート、フィルタ等の機能で一覧化したデータをエクスポートできること(csv等)。
105			請求書発行機能	任意の様式で利用料の請求書(通知)を帳票として発行できること。
106				任意の様式で利用者アカウント毎に月単位で利用料の請求書(通知)を帳票として発行できること。
107			操作方法確認機能	施設予約システムの利用方法(マニュアル等)が施設管理者サイトから確認できること(別ウィンドウで。なお、リンクにより別サイトへの誘導でも差し支えない)。
108				利用上の遵守事項、よくある質問、各施設やシステムに関するお知らせ等周知事項を編集できること。
109			利用者情報編集機能	職権により利用者情報を編集・削除できること。
110				職権により、任意の利用者に対して減免情報の設定ができること。
				利用者情報の変更・削除について管理者のみに制限できること。または変更削除情報を管理者が確認できること。
112			施設からのお知らせ配信機能	施設毎のお知らせ情報を配信できること(利用者ユーザ全体宛)

施設予約システムに求める機能要件を以下に示す。

No.	大項目	中項目	小項目	要件
113				施設毎のお知らせ情報を配信できること(利用者ユーザのうち、当該施設をお気に入り登録しているユーザ宛)
114				施設からのお知らせについて登録できること。
115				施設からのお知らせについて修正・削除・再公開できること。
116				避難所開設時などの緊急的に施設の利用を制限する必要が発生した場合に、その内容等を施設予約者にメールでお知らせとして配信できること。
117		その他便利な機能	統計分析機能	施設毎の利用状況(月・日・時間帯等)の統計データが表示・出力できること。
118	施設利用者ユーザ毎の利用状況(施設・回数・時間帯等)の統計データが表示・出力できること。			
119	施設毎の稼働率を表示・出力できること。			
	村内外利用者数や利用者年齢構成など、利用者ごとの分類データに基づく集計・出力ができること			
121			履歴確認機能	施設利用者のユーザアカウントを有する者が、利用履歴を確認できること。
122			データ共有機能	施設予約情報やお知らせ情報をデジタルサイネージや他のWebサイトで表示できるよう、データを出力できること。
123			大会等の利用	申請時に通常利用と大会等での利用を分けて入力できること。また、大会利用に対し一時的な大会用IDを付与できること。